

まちの話題

自治会活動がうまくいくヒント まちづくりフォーラム



先月2日、前廿日市市副市長の川本達志さんと前廿日市市民活動センター所長の藤井昭二さんを講師に招き、まちづくり講演会が開催されました。詳細や内容は、広報かいた4月号でお知らせします。

◀多くの住民が参加

ちょっと昔の道具に触れて むかしのくらし展

ふるさと館で開催中の「むかしのくらし展」に、海田南小学校の3年生が校外学習のため来館しました。昔の道具を見学したほか、「石うす」や「しよいこ」などを実際に体験した児童からは「重い！重い！」「女の子には無理！」などの声が聞かれました。



▲しよいこ体験

感動をことばにのせて 文化講座～講演と読み聞かせ

先月7日、「どっこい！神田の日めくりテレビ」やスポーツ実況中継でお馴染みの元テレビ新広島アナウンサー 神田康秋さんによる講演と読み聞かせがありました。参加者は「子どもたちに本の読み聞かせをするときは一つの言葉でも大事に伝えなければ」と感想を述べていました。



▶ことばの世界に吸い込まれるようなお話でした

平成25年度当初予算が可決
 今月24日に町議会議員一般選挙が行われることから、例年よりも1カ月早い2月に町議会定例会が開催され、原案どおり平成25年度当初予算が全会一致で可決されました。
 予算の概要ですが、第4次海田町総合計画に掲げる各種施策の推進に重点的に配分するなど、一般会計の予算総額は、93億7500万円、今年度比3億2,360万円、3.6%の増となっています。そのうち移転補償に伴いピークを迎える「海田市駅南口土地画整理事業」の増加が大きなウエイトを占めています。
 歳入については、町たばこ税の増はあるものの、町税全体では今年度比約1億3,900万円、3.4%の減を見込んでいます。中でも景気の低迷に伴う法人町民税の落ち込みは大きく、約1億6,500万円の減を見込んでいます。このため町の貯金である財政調整基金を取り崩すなどして、財源を確保しました。
 続いて、新規事業や拡充事業について、いくつかご紹介いたします。
 まず、子どもがいきいきと育つ環境づくりを進めるため、「海田西小学校等の耐震補強工事」や「海田中学校の改築工事」に必要な設計を行

うほか、この度完成した「海田南第2児童クラブ」の運営を始めます。
 また、子どもたちが気軽にスポーツなどに親しめるよう「学校施設ふれあい事業」として毎月第3日曜日に2カ所ずつ小学校のグラウンドを無料開放します。
 次に、健康かいた21（第2次）に基づき、健やかで心豊かに暮らせるまちづくりを進めるため、新たに「おたふくかぜワクチン接種」などの助成を始めます。更には、旧法務局跡地に高齢者のふれあいの場として整備する「海田町シルバープラザ（仮称）」の設計などを行います。
 また、都市の拠点性の向上などを図るため、引き続き、「海田市駅南口土地画整理事業」や「中店小学校線道路改良事業」に取り組みます。
 そのほか、新たに日浦山の自然に育まれた「海田の水」を町内でペットボトル販売します。おいしさには定評がありますので、ぜひご購入いただければと思います。
 景気回復への期待感が若干見受けられますが、先行きは依然不透明です。厳しい財政状況に変わりはありませんので、新年度も限られた財源の中で、最善を尽くし、町民の皆さんが住んでよかったですと思えるまちづくりを進めてまいります。

暮らしの中の消費者トラブル 町民サービス室 ☎823-9219 ☎823-7927

「姓名判断などで悩みを聞きだし高額な印鑑を売る訪問販売」

(県環境県民局消費生活課発行「暮らしのフレッシュ便」平成24年10月号より転載)

■相談内容
 突然、家に男女2人の業者が訪問してきて、「姓名判断をしてあげます」と切り出してきた。名前と生年月日を伝えると、書面に名前や画数を書いて説明してくれた。「何か悩みがあるのではないかと」と言われて、40歳代の息子が結婚できないの話を言いつつ、息子の名前を姓名判断してくれた。説明のあと、「開運鑑定付きの実印をつくれれば、息子さんは必ず結婚できる」と説得され、息子が結婚できるなら15万円の印鑑を購入した。しかし、よく考えると高額なので解約したい。
■アドバイス
 相談者には開運商法について説明しました。この契約について経緯・問題点を書いた契約解除通知書を相談者から業者に送付した結果、業者が無条件で解約に応じることになりました。人の弱みや不安を聞きだして、「運が開ける」とか「先祖の因縁を絶つため」と言いつつ、高額な印鑑や仏具などを勧めたり、さらに祈祷料などの名目でお金を請求する商法は「開運商法」「靈感商法」と呼ばれています。この業者のように販売目的を隠して訪問し、勧誘をはじめたり、「買えば必ず結婚できる」などの事実ではないことを言いつつ勧誘することは法律で禁止されています。この業者は広島県と岡山県の両県で違反行為を繰り返していたため、両県で連携して行政処分に向けた調査を行い、昨年9月に中国地方では初めて、複数県が連携して行政処分（業務停止命令6カ月）を実施しました。
 消費者トラブルは泣き寝入りしないで相談しましょう。苦情相談が多く寄せられる業者には、国や県が指導を行うこともあります。また、その業者が指導後にも、悪質な販売を続けて、さらに相談が寄せられる場合は、国や県が処分することにもなります。

■相談窓口
海田町消費生活相談コーナー ☎823-9219
 受付◆木曜日9時30分～16時（12時～13時を除く）
場所◆町民サービス室（役場2階）
広島県生活センター ☎223-6111
 受付◆月～金曜日9時～16時（12時～13時を除く）
場所◆広島市中区基町10-52（県庁農林庁舎1階）

温かい善意が寄せられています 外国コイン募金

海田町国際交流協会が昨年11月から実施している「外国コイン募金」に、1月末時点でコイン約6.5kg、紙幣14枚の温かい善意が寄せられています。集まった募金は、日本ユニセフ協会を通じて開発途上国の子どものための支援に役立てられます。

募金箱の設置場所は、海田町国際交流協会事務局（住民活動センター内）と企画課（役場2階）です。



▲世界の子どものために



▲語り合う山本整形外科病院の皆さんと町長

町長のぶらり訪問 「医療法人 かしの木会 山本整形外科病院」

1月24日、「医療法人 かしの木会 山本整形外科病院」の皆さんを訪ねました。この日は、院長、看護師長、事務長が参加。懇談では、高齢者医療や介護などの話や、下水道や公園の利用方法の話など、町の行政に関する幅広い質問が出されました。詳細は町ホームページに掲載しています。